

山のご褒美

2017.09.15

久家 隆男

山行時には晴れてほしいものである。以前は毎週のように山に行き、雨の山も風情があるとうそぶいていたことがあったが、今は基本的に雨では山行を中止する。

日帰りの場合は前日 17 時の天気予報で判断するので大狂いすることは少ない。しかし、1 泊以上の山行では判断に迷うことがある。2 日後以降の予報は当たらないことがときどきあるからだ。それでも、1 泊の場合で初日が晴れなくても翌日が晴れる予報ならば、でかけることが多い。

このようなことで、初日が悪天でも辛抱して登ると、大気の塵埃が拭い去られ、翌日が驚くほどの快晴になった山行がいくつかあり、このような場合は 2 日間の差が際立つので印象深い。このような山行を列举してみる。

雲取山（2,017m）

2010 年 4 月 7 日～8 日

初日は三峰神社から登る。午後から雨の予報だったが、9 時頃から雨が降ってくる。霧凇ヶ峰では強い降りになり、お清平の先では霰になる。白岩山の登りでアイゼンを



付け、大ダワへのトラバース道は西面が切れ落ちているので慎重に歩く。雲取山荘は我々9名だけの貸切状態。

夜は雪になり、翌朝は新雪を踏んで雲取山に登る。この上ない快晴で、北岳から荒川岳、聖岳等の南アルプスや国師岳や甲武信岳等の奥秩父の山々を遠望する。

霧ヶ峰スノートレック(車山 1,925m)

2009年2月27日～28日

初日は八島湿原をスノーシューで歩くが、風雪により頬や耳が冷たい。

翌日は快晴で、リフトで車山に登る。御嶽山、乗鞍岳から穂高岳や槍ヶ岳を始め鹿島槍ヶ岳まで北アルプスをあますことなく見渡せる。妙高山や浅間山も望め、360度の大展望だ。その後は、スノーシューで新雪を踏みながら白銀の山々を遠望すると共に、足元に狐、兎、鼠の足跡を見つけながら歩く。



車山山頂にて

常念岳 (2,857m)

2003年9月5日～7日

初日は松本のホテルニューステーションに泊まるのみ。

2日目は一の沢から登山開始するが、9時頃から雨になる。雨具を着て胸突き八丁の急坂を登る。宿泊は常念小屋。夕方に西側の部屋の窓から夕焼け雲に掛かった槍ヶ岳が見え、誰もが歓声を挙げる。



常念乗越より

3日は常念岳に登る。山頂は見渡す限りの大展望で、東から八ヶ岳、富士山、南アルプス、中央アルプス、御嶽山、乗鞍岳、前穂岳、奥穂岳、北穂岳、涸沢岳、大キレット、槍ヶ岳、表銀座、裏銀座の山々、立山、剣岳、燕岳、後立山連峰と望める山は全て望める。



常念岳より



悪天候の翌日の好天は苦勞して登って来たことに対する山からのご褒美のようだ。